

地域おこし支援員 活動報告2022年度

「伊達市地域おこし支援員」とは？ (地域おこし協力隊)

都市地域等から地方に生活拠点を移した人を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として任用し、地域の課題解決や地域おこしの支援などを行う総務省の制度です。
伊達市では制度を活用し、平成22年度から開始しました。独自に「伊達市地域おこし支援員」として任用し、市内の各地域で活動してきました。(任期は最大3年間)

発行 伊達市役所 未来政策部 協働まちづくり課

メール kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

電話 024-575-2115

日々の活動を発信中！伊達市地域おこし支援員(地域おこし協力隊)

Facebook ページ
<https://www.facebook.com/dateokoshi>

検索 伊達市地域おこし支援員 Facebook



■ 名前

佐藤 紅里(さとう あかり)

■ 担当地区

保原町富成地区

■ 着任

2021年4月～

■ 出身

宮城県仙台市



主な活動内容

地域自治組織と連携しながら地域の方の声やつながりを大切に活動してきました。ひとりでも多くの方がこのまちに住みたい、住んでいてよかったと心から思えるようなまちづくりを目指して取り組んでいます。

- 富成ばんかた市、富成芸術祭、富成のどじまん大会などの開催
- 地域の花壇づくり、耕作放棄地活用（ジャガイモ、トウモロコシ）
- 富成卓球愛好会、健康麻雀教室の立ち上げ
- 農家研修（モモ、ブドウ、ジャガイモ、ダイコン、ニラなどの栽培）
- モモ販売会の実施



2022年

4月

4/19 モモの摘花作業

農家研修ではモモの樹を数本お借りし、一年を通してモモの栽培管理を行いました。4月に行うのが摘花という余分な花を摘み取っていく作業です。下向きに咲いている花を残したり、枝の長さによって残す数が変わってくるところが面白いです。鮮やかなピンク色の花に囲まれて行うこの作業が一番楽しいです。



5月

6月

7月

7/6 にこにこガーデンの芋掘り会

伊達市社会福祉協議会と連携し、子供たちと共同で野菜や花を栽培しました。園ごとにかわいい看板も作成し、自分たちの畑に愛着を持ってもらいました。収穫したジャガイモは食べるだけでなく、富成ばんかた市で自ら販売してもらいました。農作物を育てる楽しさや大変さ、食べ物のありがたみを実感してもらえるよい機会になりました。



8月

9月

9/29 にこにこガーデンの花管理

6月上旬に子供たちと植えた花苗が成長し見事な花を咲かせました。これまでは直列に植えていたところを円形のデザインに工夫しました。昨年は珍しい花壇として全国花のまちづくりコンクールで若葉賞を受賞することができました。見る人の心を和ませるような花壇づくりを目指して取り組みました。



地域おこし支援員 活動の記録

10月

11/13 東海大学による富成訪問

集落復興支援事業の一環で東海大学の学生さんが富成地区を訪れました。富成地区の名所案内や地域の方との意見交換会、あんぼ柿作り体験などを実施しました。学生さんは初めて見るあんぼ柿や初めて行う芋煮会に興味津々でした。地域ならではの行事に触れてもらい伊達市の良さを知ってもらえる良いきっかけになりました。



11月

12/20 富成ばんかた市（クリスマス ver.）

地元で採れた新鮮な作物を販売したり地域の方々が楽しく交流できる場として、月に一度「富成ばんかた市」を開催しています。ばんかたとは方言で夕方を意味します。この時期になるとクリスマス仕様に仮装してお客さんを楽しませたり、サンタさんが子供たちにお菓子を配ったりします。地域を元気づけたいという思いで取り組んでいます。



12月

2023年

1月

2/5 富成のだじまん大会

地域で初めて富成のだじまん大会を開催し、各町内会代表の10名がそれぞれ歌声を披露しました。また、特別出演としてフルート演奏なども披露されました。当日は立ち見が出るほどの盛況となり、来場した約80人が歌や演奏に聞き入っていました。地域に素敵な歌声や大きな歓声が響き渡り、まちが明るくなりました。



2月

3月

地域の皆さんの声

歯に衣着せぬ



佐藤 衛さん

足腰の痛みをこらえ、足を引きずり歩く自分にとって、果樹、庭木等の手入れは大変難しくなってきた。そこで考えたのが当地区の地域おこし支援員のこと。早速、佐藤紅里さんにお手伝いをお願いすることにした。驚いたのは、まだ若いのにとても気が利き、手早い仕事振りに圧倒されてしまった。昔を振り返り、自分がこの年代の頃には果たしてどんな仕事が出来たか考えると、その中身は恥じることばかりである。紅里さんからは、無学の私が教わることが沢山あることに心から感謝をし、一度の人生を大切にしてみよう少しがんばって歩んでみようと思っている。



日赤奉仕団 富成支部長
菅野 美代子さん

私が紅里ちゃんとお会いした時、笑顔が可愛く体も小さく交流館の仕事をしながら果樹作りをすると聞き、また、お話をしていると草刈の免許を持っておりトラクターも運転できると聞いてびっくりしました。交流館のかしの木会では一緒に初めて草木染めを体験しました。こちらにきた時から桃の樹を数本借りて手入れをし、夏には仙台で桃の販売会をして伊達市のPRができたみたいです。

今年は結婚相手を見つけて伊達市に永住してほしいと願っています。

林業に従事する 地域おこし支援員が着任します！

● 伊達市としての目的

伊達市の森林面積は、民有林 12,702ha、国有林 515ha 計 13,217ha と、総土地面積の 49.9% を占めています。

しかし、近年、木材市場の低迷や、少子・高齢化等による林業労働力の減少等から、適正な管理が行われていない森林が増加してきています。

それらの状況を改善し、継続的なより良い森林環境を維持していくため、令和5年4月から林業に従事するミッション型地域おこし支援員を採用しました。

支援員は今後、林業の基礎知識の習得、林業へ従事するための資格取得を行ったのち、実際に山林に入って作業をしていきます。

3年の任期終了後は地域の林業の担い手として定住してもらい、伊達市を林業から活性化させる人材となってもらうことが最終目標です。

ちょっと先取りして自己紹介

■ 名前

福井 竣太(ふくい しゅんた)

■ 担当

林業（伊達市全域）

■ 着任

2023 年 4 月～

■ 出身

岩手県奥州市



令和5年4月から地域おこし支援員として活動させて頂く福井竣太と申します。埼玉県川越市から移住してきました。梁川町の自然の中を走る「阿武急の列車」の風景が美しく感じ、それが今回「伊達の林業に関わりたい」という思いに繋がり地域おこし支援員に応募しました。地域の方と関わりながら林業専門で様々な課題に取り組んでいきますので是非よろしくお願い致します。

● 今後一年間のスケジュール

4月から6月中は農林整備課内で林業に関しての基礎知識を養います。その間に林業に従事していくのに必要な基本的なチェーンソー、刈払機の講習を受け資格も取得をしていきます。7月からは林業関係企業に研修として参加し、実践的な体験をしながら、現場での知識を習得していきます。

4月 ↓ 4月～6月まで農林整備課で林業に関する基礎知識を習得。
5月
6月
7月 ↓
8月
9月
10月 林業関係企業で林業に関する研修。
11月
12月 ↓



平成 3 年 11 月 11 日	岩手県奥州市に生まれる
平成 10 年 4 月	一戸町立奥中山小学校 入学
平成 19 年 4 月	水沢高等学校 入学 (岩手)
平成 22 年 4 月	東京福祉大学 保育児童科 入学
平成 26 年 4 月	株式会社 ベガスベガス 入社
令和 3 年 7 月	同社 退社
令和 3 年 8 月	個人運送業 開業
令和 5 年 4 月	伊達市役所地域おこし 支援員着任



目標は

色々な方に
「伊達市の自然は美しい」と
思ってもらえるような
きっかけ作りができる
人材になりたい！

現在 31 歳
趣味は
麻雀とダーツ



よろしく
お願いします

地域プロジェクトマネージャー 活動の記録

2023年

1月、福島県広域サイクルルート（フルート）が新聞に発表となり、伊達市にもサイクリストが遊びに来てもらえるように、ルート間をつなぐフルートをホームページに掲載する。



チューブ入り自販機は、4月から順次伊達市役所本庁舎、月舘総合支所、おての里きてみくな、保原総合公園、梁川総合支所の5か所に設置しました。自販機には各設置場所からのおす



すめルートを作成し、スマホアプリで確認できるQRコードとともに広告スペースに掲示しています。

4月

3月

2月

1月

友人にお願いしていたロゴマークが完成する。
発表に使ったものとは別に、同じ作者による「パクリ」の「ダジャレ」バージョンも完成。
ダジャレバージョンは缶バッジ化の予定。（きてみくなの体験に来てくれた方にプレゼント予定）



あぶくま地域づくり推進機構の取材を受け、同団体のホームページに掲載をしていただく。

ホームページ、SNSの閲覧数が増え始める。ホームページの更新を行ってから、SNSシェアをかけると、24時間程度で100ビューを超えるようになった。



2022年



8月、コロナが完治してから1週間遅れで着任。まずは、自宅周辺に何かがあるのか、伊達市内に何かあるのかを知るために、散歩と自転車を繰り返す。

10月、静岡で見た「タイヤチューブ」を入れることができる自動販売機を伊達市内に設置できないかな? と思い、3社ほど企画の持ち込み実施。1社のみやってみましよう、と引き受けが決定（令和5年4月に設置になりました）



12月

11月

10月

9月

8月

情報の発信はSNSが手間を取らずにできるが、埋もれてしまうと見つけてもらえない。走るルートの情報をいつでも取り出せるようにしておくには、アーカイブ替わりになる昔ながらのホームページ...ということで設置を行う。



伊達市内に敷設されていた路面電車に興味を持つ。実際に走っていたルートなどを調べて自転車で走ってみる。廃線マニアだったら、喜んで走らなうなってルートを作成し、ホームページに掲載。

名前：古賀 基生（こが もとお） 出身：埼玉県（自宅があります） 着任：2022年8月～

プロフィール

損害保険会社を退職し、伊達市で地域プロジェクトマネージャーに任用される。

趣味 自転車 オートバイ ラグビー（ケガでプレイはできません）

自転車は、ケガのリハビリとして開始したのですが、センチュリーライド（160キロを8時間以内に走る）にはまり、各地のセンチュリーライドの大会を渡り歩くようになりました。これまでも佐賀県の大会から岩手県の大会まで走りに行きました。同時に、安く旅をする方法も覚えました。旅費と時間のバランスをとって大会に申し込みをしております。

2022年コロナの終わりが近づいたころ、自転車の長距離走の大会が復活を始めました。

走れる大会を探していた時に、小学校のリノベーションを進めるプロジェクトマネージャー募集の記事をSNSで見つけました。

地域に自転車乗りを呼び込む、自転車乗りのたまり場を作るなど「夢がある」なあって感じて応募しました。

たまたま、住宅ローンは終わり、役職定年となる年齢など新たに仕事をするにはよい

タイミングでした。

きてみーなに自転車乗りが休憩しながら情報交換をしたり、だらけていたり：伊達市内に自転車を楽しめる環境を作りたいと思っています。

伊達市は自動車の文化が進んでいますが、自転車に乗りませんか？

最近の電動アシスト自転車だったら、伊達市内の坂はすべて楽にクリアできますよ。環境にやさしい自転車に乗りましょう。



伊達市旧小手小学校簡易宿泊所 おての里きてみくな 『サイクルツーリズム×交流』をテーマにした廃校活用プロジェクト



伊達市の月館地域にあり、令和2年3月に66年の歴史の幕が閉じられた「旧小手小学校」を宿泊施設にリノベーションするプロジェクトです。

このプロジェクトでは、周辺のつきだて花工房、交流館もりもり及び月館運動場と連携した活用をすることにより、賑わいの創出・地域の活性化を目的に活用し、地域住民の交流の場をつくります。

目玉となっている宿泊所の「おての里きてみくな」は、サイクルツーリズムに特化して利用者は自転車、宿泊部屋に持ち込んで泊まることができます。

カフェスペースも併設していて、休憩場所としても活用することが可能です。

1階のメンテナンスは、サイクリストにやさしい施設として、工具、メンテナンス料で使うことができ、利用者が自分で自転車の不具合の調整できる設備が整っています。また、4種類のローラー台を設置していて、自転車の試乗体験も可能となっています。

2階にはレンタルスペースとして、調理室と貸会議室があり、集会やイベントにも活用することができます。

3階は宿泊室、宿泊者用の自炊室、ラウンジ、シャワー室、洗濯機が設置されています。

近くには大きなグラウンドもあるため、学生や企業等のスポーツ合宿にもピッタリです。



福島県伊達市



地域プロジェクト マネージャー 活動報告2022年度

「地域プロジェクトマネージャー」とは？

都市地域等からの人材により、地方公共団体の重要プロジェクトを推進する総務省の制度です。
伊達市では制度を活用し、「旧小手小学校リノベーション事業」を推進する伊達市地域プロジェクトマネージャーを任用しました。（任期は最大3年間）

発行 伊達市役所 未来政策部 協働まちづくり課

メール kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

電話 024-575-2115



伊達市には、地域を盛り上げる活動をしている3名が活躍しています。この冊子ではそれぞれの活動を紹介しています。